ジェンダー視点に基づく議会改革

サラ・チャイルズ教授講演会

コメント

2023年1月19日

＠衆議院第一議員会館　国際会議室

名古屋大学大学院法学研究科
武田宏子

「ジェンダーに配慮した議会」

「ジェンダー平等という目標を擁護する上で、議会は適した立場に ある。議会は、社会を反映しようとするものであり、だからこそ、 有権者の変化も反映しなければならない。

ジェンダーに配慮した議会とは、その構成、組織構造、運営、 方式及び業務において、男女双方のニーズ及び利益にかなう議会 である。ジェンダーに配慮した議会は、女性の完全な参加を妨げ る障壁を取り除き、社会全般の手本となる事例又は模範を示す。 また、こうした議会は、ジェンダー平等を推進するため、その運 営や資源を効果的に活用している。

ジェンダーに配慮した議会には、女性の完全な参加や、両性の 議員及びスタッフ間における平等について、実質的、構造的又は 文化的な障壁が存在しない。それは単に女性が働ける場であるだ けでなく、女性が働きたい、貢献したいと思う場である。ジェン ダーに配慮した議会は、社会におけるジェンダー平等と女性の地 位向上を推進することによって、国内的にも国際的にも模範を示 すことができる。」

IPU（2012）『ジェンダーに配慮した議会のための行動計画』、8-9頁
http://archive.ipu.org/pdf/publications/action-gender-jp.pdf

ご報告から学べること

- 「ジェンダーに配慮した議会」イニシアティブの10年間にわたる発展の過程
  - IPU行動計画（2012年）からキガリ宣言(2022年）へ ←―― 世界各国での実践
  - 学術研究、特にフェミニスト制度論からのインプット
  - 議会：ジェンダー化された制度
    「伝統的に男性に権力を与えてきたジェンダー化された期待、規範、規則、実践が浸透した制度」（S. Palmieri (2019) 'Feminist Institutionalism and Gender-Sensitive Parliaments: Relating Theory to Practice', in M. Sawer and K. Baker (eds) *Gender Innovation in Political Science: New Norms, New Knowledge*, Palgrave Macmillan, p. 173-194.）
- 英国ウエストミンスター議会での実践
  - 研究者（＝チャイルズ教授）が議会に「出向し」、庶民院議長や議員たちだけではなく、議会スタッフと協働し、「ジェンダーに配慮した議会」に向けての議会制度改革を具体的に、構想し、実施する
  - 制度改革の実現：産休中の議員の代理投票＆独立したいじめやハラスメントなどの苦情処理手続きの設置
  - 「ジェンダーに配慮した議会」＝「良い議会」（The Good Parliament）：包摂性と応答性が向上し、より良い社会や日常生活を実現するために、議会がしっかりと、十全にその役割を果たす＝民主政治の効果的な展開、質の向上

英国ウエストミンスター議会での実践の試み

- 2015年：議会での滞在・調査

→2016年7月：『良い議会』報告書の公表

- 2010年以来の議会・議員との協力関係
- 女性議員割合が一層、拡大する過程で調査が行われている
- キャメロン政権からメイ政権へ:「鍵となる男性の協力（＝共同戦線を張る）者」の存在
  - 成功裏に調査を行う基盤として、議会内に女性議員数拡大の機運の存在？
  - 一定程度の女性議員の存在の必要性？
    ex. 庶民院「女性平等委員会」の活動の実績
  - 調査を行ったことの教育効果？

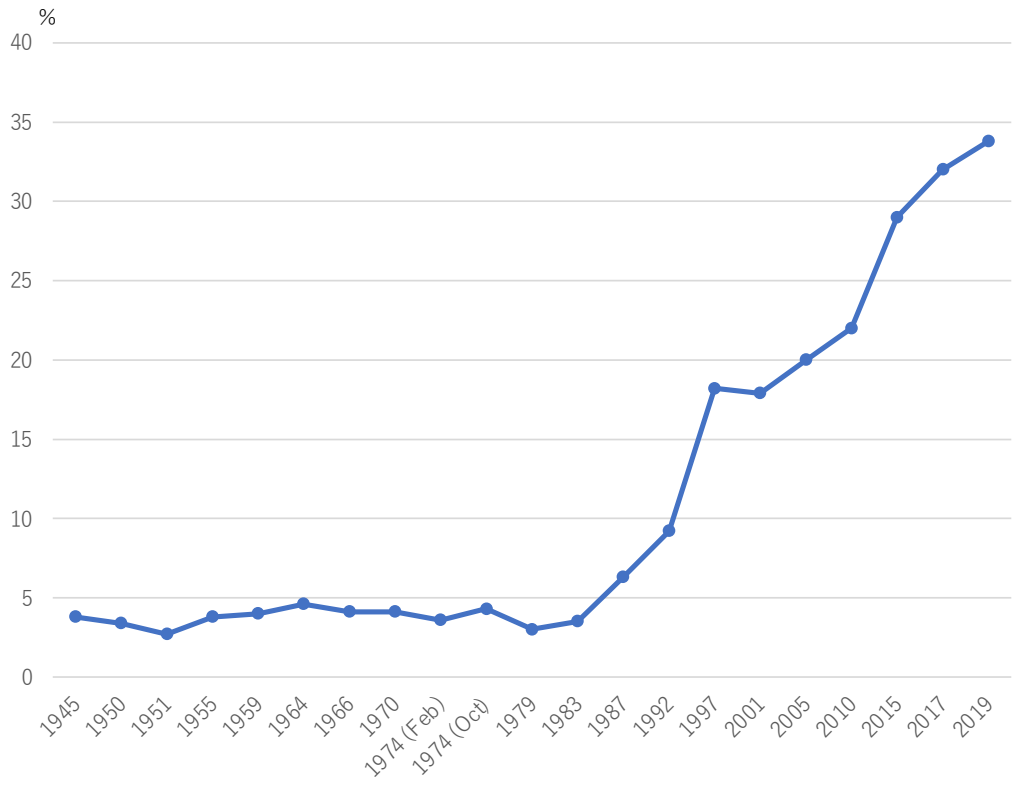
⟷ **男性化したブレグジット政治**…

- 今後の展望は？

「女性が働きたい、貢献したいと思う場…」

- チャンスはしっかりと掴んで、活用すべし！
  - 不可逆的な変化を起こしうる

ウエストミンスター議会の女性議員比率



『良い議会』報告書のインパクト

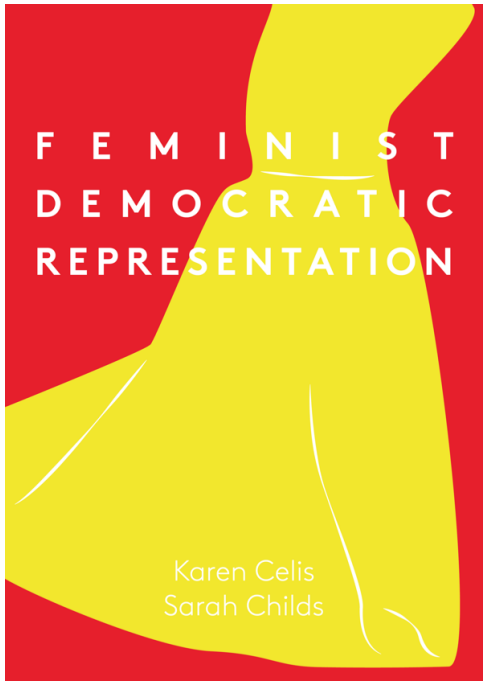
- 参加ーインフラー文化の各次元で変化の起こり方が異なる
  - CRGRや特定の政治的アクターの活動の仕方？
  - 文化のみ、変化なし、あるいは悪化が観察されたのはなぜか？
- 変化を促進する／阻害する要因が何であるのか析出する必要
- 各次元の相互作用
  - 参加（＝存在）の拡大→文化の変化の可能性は？
  - 重点領域の特定

3段階評価（赤茶緑）			
次元	措置	2015	2018
参加の平等性	国会議員の多様性 (性別、人種、階級)		
	院内の指導的立場に就く女性		
	女性の参加 (委員会)		
インフラ	議会規則		
	議事日程 & 会期		
	平等・多様性を監視する機関・グループ (法・政策)		
	平等・多様性を監視する機関・グループ (議会制度)		
	議事堂の設計・空間		
	子育て・子どもに優しい措置		
	産休・育休		
文化	下院の方針・実行計画		
	議院文化 (党首討論 & 儀式・儀典)		

学術研究と現実政治の間で

- 議会でIPU調査を行う以前の研究活動
  - 女性の政治代表の拡大と政党組織改革
    - 労働党
    - 保守党
  - ジェンダー平等を実現するために女性の記述的、象徴的、実体的代表の拡大の必要性

    ←――― 制度改革の重要性
- 新たな研究課題としての「ジェンダーに配慮した議会」→理論的発展
- 政党研究と「ジェンダーに配慮した議会」研究は「車の両輪」
- クリティカル・アクターとしてのフェミニスト研究者（feminist academic critical actor）（＝政治的アクター）
- 現場（ジェンダー問題に強い関心を持つ専門職に就く人びと）との協働
- 現実政治と学術研究が「良き」協働関係を持つことの必要性→民主政治の質の向上＆学術研究の発展



ご清聴ありがとうございました